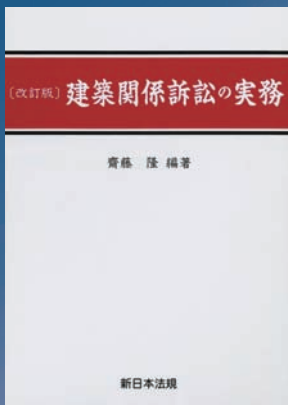


[改訂版] 建築関係訴訟の実務



編著／齋藤隆

A5判 564頁

2005年4月発刊

概要

- 裁判実務の解釈運用に役立つ「訴訟実務シリーズ」として発行するもので、建築関係訴訟を実務的観点から技術的・専門的な特性に基づく実体法上の諸問題について解説してあります。
- 手続上の課題についても検討を加えてありますので、建築に関する紛争解決のための関係者必備の書です。

目次

第1編 建築関係訴訟の概観	第4 住宅の品質確保制度
第1章 建築関係訴訟の概要	1 住宅の品質確保の促進等に関する法律の概要
第1 建築関係訴訟の意義	2 住宅に係る紛争の処理体制
1 はじめに	3 紛争処理機関の構成
2 建築関係訴訟の定義	4 対象とする紛争
第2 建築関係訴訟の実態	5 手続の申請者
1 建築関係訴訟の類型	6 申請の方法
2 建築紛争の現れ方	7 紛争処理の方法
3 建築関係訴訟の特質	第5 調停
第3 建築関係訴訟を巡る論点	1 概要
1 建築の各段階と紛争の発生	2 調停機関の構成
2 建築紛争の基本的諸問題	3 対象とする紛争
3 建築紛争に関する実体法上の論点	4 当事者
4 建築紛争に関する手続上の論点	5 申立ての方法
第2章 建築紛争を巡る基本的諸問題	6 審理の方法
第1 建築紛争の分類	7 調停の終了
1 公的機関に関するもの	第6 訴訟
2 設計に関するもの	1 概要
3 (工事) 監理に関するもの	2 手続の主宰者
4 施工に関するもの	3 対象とする紛争及び当事者
5 建築主と第三者に関するもの	4 申立ての方法
第2 建築紛争の背景	5 審理の方法
1 建築生産の実情	6 紛争の解決
2 建築紛争原因の専門的技術的側面	第2編 建築紛争を巡る実体法の問題
3 建築法規と行政的規制	第1章 建築に関する各種契約
第3章 紛争解決制度の概要	第1 建築設計・監理契約
第1 建築関係の紛争解決	1 設計・監理契約の意義
第2 建築審査会	2 設計・監理契約の内容
1 概要	3 設計者の資格
2 建築審査会の構成	4 設計・監理契約の法的性質
3 対象とする紛争	5 設計・監理契約の成立
4 審査請求をすることができる者	6 設計者の報酬請求権
5 審査請求の方法	7 設計者の法的責任
6 審理の方法	8 設計図書と著作権
7 裁決	第2 建築物の売買契約
8 裁決に不服がある場合	1 売買契約の成否と危険負担
第3 建設工事紛争審査会	2 目的物の瑕疵とその担保責任
1 概要	第3 建築請負契約
2 建設工事紛争審査会の構成	1 建築請負契約の成否と契約締結上の過失
3 対象とする紛争	2 建築工事請負契約約款の性質と効力
4 当事者	3 共同企業体及び下請を巡る諸問題
5 紛争処理の申請	4 工事の完成と引渡しに関する法的問題
6 紛争処理の方法	5 建築請負人の報酬請求権
7 仲裁判断について不服がある場合	6 完成した建物の所有権の帰属
	7 工事の未完成と倒産法上の処理

目次のつづき

- 第2章 建築物の瑕疵とその法的責任
 - 第1 瑕疵担保責任
 - 1 瑕疵の概念
 - 2 建築物の欠陥に関する技術ないし生産システム上の問題と瑕疵概念
 - 3 瑕疵の種類
 - 4 瑕疵の判断基準
 - 5 瑕疵の修補と損害賠償
 - 6 除斥期間
 - 第2 債務不履行
 - 1 瑕疵担保責任と債務不履行責任との関係
 - 2 債務不履行責任が認められる場合
 - 3 通説的見解によった場合の具体的効果
 - 第3 不法行為
 - 1 不法行為責任の成否
 - 2 請負人と注文者との関係
 - 3 請負人又は注文者と第三者との関係
- 第3章 建築工事による生活妨害を巡る法的問題
 - 第1 建築工事と生活紛争
 - 第2 日照紛争とその救済
 - 1 日照の保護の必要性
 - 2 日照紛争の形態
 - 3 日照侵害の違法性の判断基準
 - 4 差止めと損害賠償請求
 - 第3 建設工事紛争を巡る法律問題
 - 1 建設工事を巡る生活妨害
 - 2 騒音・振動に対する法的規制の問題点
 - 3 騒音・振動に対する行政的規制の概要
 - 4 民事紛争の形態
 - 第4 眺望・景観等の侵害による紛争
 - 1 眺望・景観を享受する利益の性質
 - 2 眺望・景観を対する法的保護
 - 3 具体的な事例と保護要件の分析
 - 4 救済の方法及び内容
- 第4章 相隣関係の法的問題
 - 第1 建築物と隣地使用
 - 1 はじめに
 - 2 民法209条の隣地使用権
 - 3 法定導管設置権・使用権等について
 - 第2 境界と建築物
 - 1 はじめに
 - 2 民法234条について
 - 3 境界線付近の建築物における窓等の目隠しについて
 - 第3 通行権紛争
 - 1 はじめに
 - 2 囲繞地通行権に関する問題
 - 3 私道の通行
- 第3編 建築関係訴訟の実務
 - 第1章 建築関係訴訟の特質
 - 第1 建築関係訴訟の分類
 - 1 事件の種類と類型
 - 2 建築瑕疵紛争事件の特性
 - 第2 建築関係訴訟の審理の特質
 - 1 建築瑕疵紛争と専門的知見
 - 2 建築瑕疵紛争事件の審理の特質
 - 3 調停制度
 - 第2章 建築瑕疵紛争事件における当事者の準備活動
 - 第1 訴訟準備の方法
 - 1 紛争の発生と実情の把握
 - 2 主張の整理及び証拠収集
 - 第2 保全措置
 - 1 証拠の保全措置
 - 2 請求債権の保全措置
- 第3 訴状の作成・提出
 - 1 建築瑕疵紛争事件の訴状の特質
 - 2 作成上の注意点
- 第3章 建築関係事件の審理
 - 第1 争点整理手続
 - 1 争点整理の目的
 - 2 争点整理手続運営の方針
 - 3 計画整理の実施
 - 4 争点整理手続における専門的知見の取得方法
 - 5 争点整理手続の実践
 - 6 争点の確定
 - 7 争点整理における書記官の役割の重要性
 - 8 和解
 - 第2 証拠の整理と証拠調べ
 - 1 証拠の整理と分類
 - 2 準文書の活用方法
 - 3 現地見分の活用とその方法
 - 4 鑑定人の活用とその方法
 - 5 人証調べの問題点
 - 第3 建築事件集中部における審理及び調停
 - 1 東京地方裁判所
 - 2 大阪地方裁判所
 - 第4 建築瑕疵紛争事件の解決
 - 1 判決作成上の問題点
 - 2 和解実施上の問題点

■資料編

■索引